

新型コロナワクチンについて、学校の対応に関するアンケート 報告

公益社団法人東京都専修学校各種学校協会

会 長 山中祥弘

調査研究事業部長 坂本 歩

新型コロナウイルス感染症の拡大が続くなか、各校におかれましては、政府・東京都の指導を踏まえながら、学校運営を行っていると思われます。そのような状況下で、新型コロナワクチン接種について学校ではどのように対応をしているか、緊急のアンケートを実施しました。アンケート内容は、「職域接種の実施状況/職域接種に取り組む際に必要とする支援/ワクチン接種の現状についての意見等」の3点について質問しました。調査期間が短いに関わらず 142 校から回答をいただきました。ご協力ありがとうございます。このたび結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

調査期間：2021年6月24日(木)～6月30日(水)

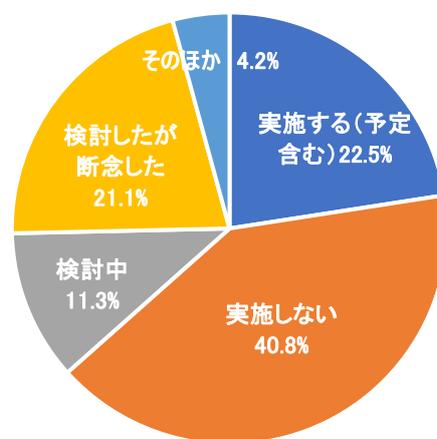
対 象：会員校 322 校

方 法：Google フォームによる web 上での回答

回 答：142 校、回答率 44.0%

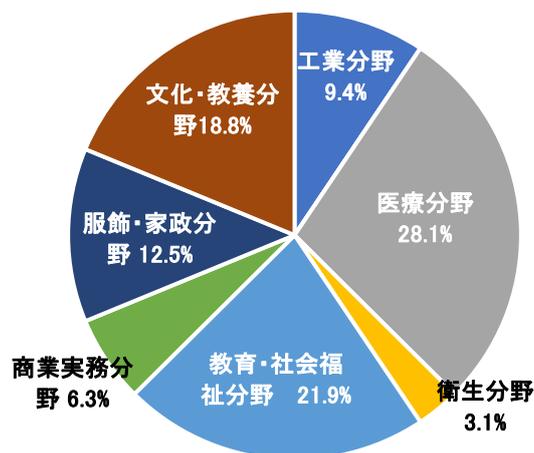
1 職域接種を実施について

・実施する(予定を含む)	32 校
・実施しない	56 校
・検討中	12 校
・検討したが断念した	30 校
・その他	6 校



* 実施する(予定を含む)と回答した学校の内訳

工業分野	3 校
農業分野	0 校
医療分野	9 校
衛生分野	1 校
教育・社会福祉分野	7 校
商業実務分野	2 校
服飾・家政分野	4 校
文化・教養分野	6 校



《設問の回答理由》

実施しない

- ◇ 規模が小さいため、人材の確保や対応できるものがない。
- ◇ 職域は当初想定されていなかった。緊急時の医療体制も含め整えられない。
- ◇ 状況的に難しい。(医師の確保・人数・授業への影響の懸念)
- ◇ 医師の確保、接種後の副反応が出た場合の対応、会場の問題等で総合的に判断し、実施しない。
- ◇ 強制力が起きてしまうのは、学校という団体において良くないと判断した為。

検討中

- ◇ 教職員・学生、そして保護者からも学校での職域接種を希望する人が増えつつある印象。実際に問い合わせの電話もまだ数件ではあるが入っている。但し医師・看護師の確保に難航している。
- ◇ 併設大学と合同での実施考え、文部科学省へ事前相談中。
- ◇ 医師の確保はできたが接種日が決まらず、まだ申し込みができていない。

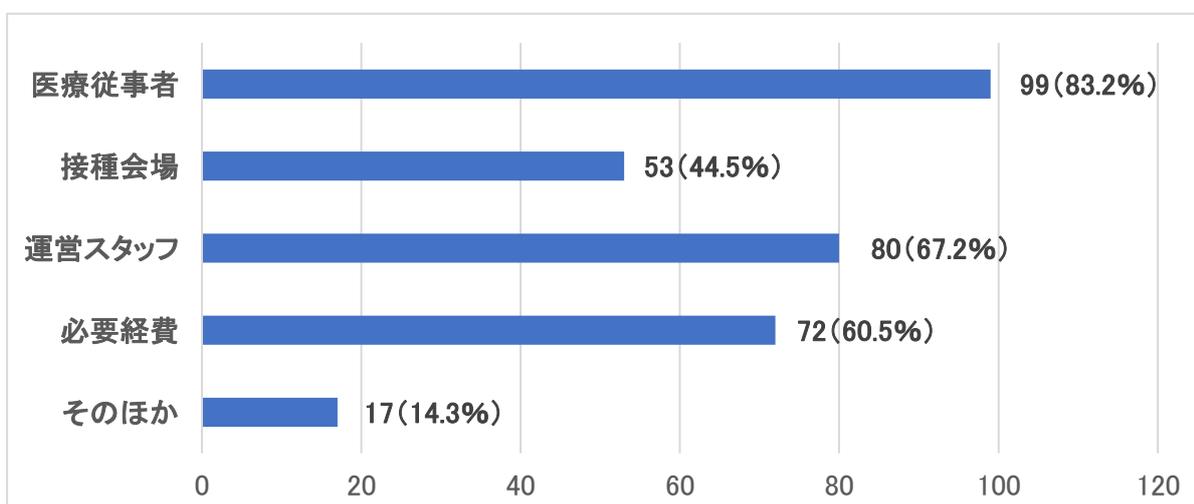
検討したが断念した

- ◇ 医療従事者の手配ができない。接種の人数が少ない。
- ◇ 医療従事者および通常授業期間の十分な接種会場の確保が困難であること。
- ◇ 他の医療系の専門学校と合同実施を含め検討していたが、6/24の河野大臣の新規申請一時中断を受けて断念した。
- ◇ 病院・地域との連携困難。

そのほか

- ◇ 接種規模、医療従事者の確保等課題が多い。学校単位(200名程度)での接種が可能であれば検討したい。
- ◇ 現在、他の職域接種と調整を図っているため。
- ◇ 学校では実施しないが、学校への協力企業様より職域接種の案内をもらっている。

2 職域接種に取り組む場合に必要とする支援は？(複数回答)



《「そのほか」の具体的な支援内容》

- ◇ 1,000名規模、自前での医療従事者確保が課題となる。制度変更への働きかけをお願いしたい。小規模会場、医療従事者の派遣等。
- ◇ 医療従事者の専門学校であり、臨床実習も必要なので、できれば希望者にはワクチン接種を受けさせたいので、近隣の大きな会場でワクチン接種を企画して頂けるとありがたい。
- ◇ 周知等のシステム。
- ◇ 副反応者対応のための医療機器。
- ◇ 接種後の接種記録登録及び、診療報酬請求事務。
- ◇ 実施計画の策定、接種会場の運営方法等についての問い合わせ先（何処に何を問い合わせれば明確な回答が得られるかはっきりして欲しい）。

3 ワクチン接種の現状について、ご意見をご自由にご記入ください。

（支援・要望関連）

- ◇ 教職員、学生ともに各自接種予約を行っている。現状ではほぼ接種できておらず、予約も取れていないものがほとんど。クラスターこそ起きていないものの通常授業を継続することに不安がある。ぜひとも支援をお願いしたい。
- ◇ 6/4に東京都より発信の職域接種希望アンケートから一転、6/11発信の内容では対象者が1,000名に満たない場合は支援対象としない、となっていました。恐らく、この一週間の間に相当数の回答があったのではないかと思います。それだけ、接種を希望する学校が多いのではないかと思います。個々の学校同士が話し合っ「1,000名にしましょう」というのも難しい学校に対して、どこか取りまとめの機関が発信をしてくれると大変助かると思います。
- ◇ 罹患率の高い年代の学生とそれに対応する教職員への接種対応の加速化を希望。
- ◇ 実習授業等オンラインでの授業ができない学校の学生については1,000人以上という条件なしで職域接種が実施できるようだとありがたい。
- ◇ 実施できる環境があれば行いたいと思いますが、難しい状況です。また、自治体実施と職域接種ではワクチンの種類が違うのが、若干の懸念点です。ただ、東専各で一括実施していただけるのであれば、ぜひ検討したいです。
- ◇ 10代、20代の若者への接種を早急に検討してほしい。
- ◇ 対面授業を基本とし、在宅ワークもできない学校関連教職員も優先接種の対象としていただきたい。
- ◇ 定員数の少ない専門学校を協会が取り纏め、地方自治体と連携を取りながら学生や教職員等の職域接種を進めていく方法も考えられるのではないかと思います。
- ◇ 夏休み中の接種を希望しているため、6/9に申請しているが、6/10に受理の連絡があった後、厚労省からいまだ何の連絡もない状態である。厚労省に迅俗な対応を求む。
- ◇ 申請をしても許可が下りるまで時間がかかると聞いています。また、ワクチンが足りないという話もあるので、環境整備を望みます。

（そのほか）

- ◇ 若年層は、各家庭で接種するか否かの判断が別れると思うので、学校で接種させることが妥当かどうか疑問も残る。
- ◇ ワクチンの安全性について疑問を持つ若い人たちへの説明がとても難しいと考えます。

- ◇ 個々のいろいろな状況や考え方もあるので、強制でないことをしっかり理解してもらいつつ、ワクチンの必要性も理解してもらいたい場合の説明は難しいです。
- ◇ 今後、未接種者がいる中での接種済者の予防に対する気の緩み等への注意にもとても気を遣うことになるのでまだまだ課題は多いと思います。
- ◇ 接種は自由意志に基づいて行われるべきと考えており、強制や接種による差別は避けるべきと考える。
- ◇ 任意とは言え、SNS による根拠のない情報によって接種を拒否することも考えられます。正しい情報を伝える手段が必要と感じます。
- ◇ 打たない(打てない)人への理解を深め、同調圧力が生じないよう対策が必要。
- ◇ 個々の専門学校で職域接種を計画するよりも、同一地域の学校で検討していく方が計画はたて易いと考えます。
- ◇ 学生を早い段階において接種させたい。
- ◇ 情報が散乱している。その情報に振り回されており、現場は非常に混乱している。
- ◇ 接種希望の方々が速やかに、接種できる様に進行していない点(接種券配布や予約など)。
- ◇ 介護や保育など現場実習がある学科については、職域接種で希望者に早く接種できるようにしたいが、医療系学部や附属病院などがある大学等でないと医療従事者の確保が難しい。
- ◇ とにかく 1 日でも早くワクチン接種が普及して欲しい、また若者への正確なワクチンに関する情報提供(接種についての副反応、危険度、将来的な影響など)が必要と感じます。
- ◇ 個人でワクチンを接種された方と、学院で行う職域接種者のすり合わせに手間がかかる。
- ◇ 当校では教職員自身と家族、また他の教職員や学生への感染防止の理由からワクチン接種を積極的に推奨しています。
- ◇ 会場、人員の問題が大きく、現実的ではありません。
- ◇ 学校として推奨はするが、強制するものではなく、接種日及び副反応時の欠席扱い免除について方針を決定して対応していく。
- ◇ 今後全世代のワクチン接種が可能になった場合、教職員はもちろんですが、学生・生徒のワクチン接種拒否者の割合がどのくらいになるのか心配しています。
- ◇ 各ワクチン接種後の症状を適宜共有したい。
- ◇ 昨晚(6/24)、厚労省ワクチン担当によるメール連絡により、本学の計画日程(週先、申請受付から 4 週先)での接種が出来ないとの回答があり、本申請条件の接種者下限人数 1,000 人には本学学生含み関係者だけでは未達であった為、地域企業等にお声がけし下限人数に至ったが、本日全て接種日についてワクチン入荷未定による延期を連絡致しました。また打ち手の確保面では、苦勞し調整したドクター、看護師にも本件を連絡し、入手日が確定しない限り日程の再調整が出来ず、一度白紙に戻した状態である。
- ◇ 学生や職員に対する対応が遅すぎます。
- ◇ 職域接種の場合、個々に副反応も違うため、人員的に業務に影響がでるのではないかと心配がある。もちろん、それぞれの職場で、計画的に接種を実施していくが、役割によっては、順番を待ってもらおうスタッフも出てくるのが懸念される。
- ◇ オリンピックを目前にして接種が遅れていることが心配。また、接種はあくまでも本人が決めることを国民全体の合意にする必要があると思う。